

## 第 30 回全日本クラブ卓球選手権大会

- (1) 名 称 第 30 回全日本クラブ卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 23 年 9 月 16 日 (金) ~ 19 日 (月)
- (3) 会 場 くまがやドーム  
JR「熊谷」駅よりバス約 20 分  
〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上 300  
TEL (048) 526-2004 FAX: 048-526-2014
- (4) 主 催 (財) 日本卓球協会
- (5) 主 管 埼玉県卓球協会、熊谷市卓球連盟
- (6) 後 援 埼玉県、埼玉県教育委員会、(財) 埼玉県体育協会、熊谷市、熊谷市教育委員会、  
(財) 熊谷市体育協会
- (7) 競技種目 (団体戦) (イ) 男子：一般の部 1部 (ロ) 女子：一般の部 1部  
(ハ) 男子：一般の部 2部 (ニ) 女子：一般の部 2部  
(ホ) 男子：50代の部 (ヘ) 女子：50代の部  
(ト) 男子：60代の部 (チ) 女子：60代の部  
(リ) 男子：小・中学生の部 (ヌ) 女子：小・中学生の部
- (8) 試合方法 競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行う。  
一般の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名を登録することができる。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。  
但し、1、2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。  
50代の部 : 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名を登録することができる。  
登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。  
但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。  
60代の部 : 選手は 60 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名を登録することができる。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。  
小・中学生の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名 (中学生以下) を登録して 5 シングスを編成し、予選リーグは勝敗に関係なく全試合 (5 番まで) 行うものとする。なお、その記録結果はリーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象とする。出場順は次の通りとする。
- |         |       |         |       |    |
|---------|-------|---------|-------|----|
| 1       | 2     | 3       | 4     | 5  |
| 中学生以下 A | 小学生 A | 中学生以下 B | 小学生 B | 自由 |
- ※ 5 番は 1 ~ 4 番出場選手の中の 1 名が重複して出場するか、1 ~ 4 番出場以外の者も出場できる。但し、年令の低い者が年令の高い所への出場は認めるが、1 人で 3 回出場することはできない。  
※ 第 1 ステージのリーグ戦は 3 チームリーグとする。
- ※ 監督会議での登録選手の変更は 2 名までとし、いずれも予選に出場していない者とする。  
また、監督会議後の変更は受け付けない。  
※ 両チーム整列時に、試合に出場する規定の 4 名以上のメンバーがその場に整列していないければならない。(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)  
※ 前年度のランキングチームであっても予選リーグより出場となる。
- (9) 競技日程 (日程については参加申込数により変更することがあります。)  
監督会議 未定  
競 技 9 月 16 日 (金) 50代の部、60代の部  
17 日 (土) 一般2部、50代の部、60代の部、小・中学生の部  
18 日 (日) 一般1部、2部、小中学生の部  
19 日 (月) 一般1部
- (10) 競技ルール ① 現行の日本卓球ルールによる。  
② 全試合 11 本 5 ゲームで行う。

- ③使用球は、J T T A公認球；40mmオレンジを使用する。  
(平成24年度よりホワイトを使用する)
- ④ゼッケンは平成23年度(財)日本卓球協会指定のものを持参して使用すること。
- ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJ T T Aが公認した接着剤のみを使用すること。

(11) 参加資格

- 1)参加者は平成23年度、(財)日本卓球協会登録者で構成する団体であること。  
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の新規選手登録は認められない。  
また、日学連、高体連に加盟している者は出場する事ができない。
- 2)参加チームは、原則として現住所または勤務先を同一都道府県内とするメンバーからなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。但し、現住所、勤務先がクラブ活動地と異なる選手の出場については、当該加盟団体長の承認を必要とし、この場合は隣接都道府県に限って認めるものとする。なお、登録加盟団体以外(隣接都道府県)のチームから参加する場合は、当該年度を含め2年間は当該チーム以外からは出場できない。
- 3)出場者は(予選会を含めて)同一年度に一人一種目までとする。
- 4)卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
- 5)男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
- 6)予選出場メンバーと本大会のメンバーを、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームのメンバーがチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。  
予選の方法は加盟団体に一任する。
- 7)前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものとして取り扱う。
- 8)前年度ランキングチームが『前年度一般の部から50代の部』、『前年度50代の部から60代の部』に出場する場合、メンバーが4名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
- 9)外国籍の選手(日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く)は1チーム1名1ポイントに限って参加資格が得られる。(シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。)
- 10)本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
- 11)本大会に出場した代表チームのメンバーは、第一三共ヘルスケアレディース2011・第34回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。(但し、予選会を除く。)
- 12)一般の部1,2部男・女は、第61回全日本実業団選手権大会(本大会)出場者(参加登録者を含む)は出場できない。
- 13)一般の部2部男・女
  - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間、('08~'10)下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
  - ②過去3年間('08~'10)下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。(過去3年間に下記全国大会に出場した選手が1人でも含まれる場合には1部となる)
  - ③全日本実業団選手権大会(予選会を除く)に参加したことの無い企業チーム。  
※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。

全国大会 ①全日本卓球選手権(ジュニアを含むが、マスターズの部は含まず)  
②全日本選手権(団体の部) ③全日本社会人選手権  
④国民体育大会 ⑤インターハイ(シングルス・ダブルス)  
⑥全日本学生選手権(全日本大学対抗選手権は対象外)
- 14)50代の部男・女は、昭和37年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(50才以上)
- 15)60代の部男・女は、昭和27年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(60才以上)
- 16)小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年齢の低い者だけで構成してもよい。

- 17) 前年度一般2部優勝チームのみが一般1部に推薦出場するものとしその他の一般2部のランキングチームは一般1部もしくは一般2部いずれかを選択し推薦出場できる。
- 18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績(ランキング)を剥奪し、当該チームは翌年度の本大会に出場することはできない。

(12) 参加数 一般1部、一般2部、50代の部、60代の部

区分	都道府県名	出場枠
1	北海道、埼玉(開催地)、東京、愛知、福岡	4
2	神奈川、静岡、京都	3
3	千葉、大阪、広島、長崎	2
4	その他の府県	1

小・中学生の部

区分	都道府県名	出場枠
1	北海道、埼玉(開催地)、神奈川、静岡、兵庫	4
2	福島、茨城、千葉、新潟	3
3	栃木、東京、愛知、岐阜	2
4	その他の府県	1

区分1：開催県及び平成22年度日卓協該当登録人口上位4加盟団体

区分2：平成22年度日卓協該当登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成22年度日卓協該当登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3に該当しない加盟団体

※上記区分以外に、各県予選において出場数が15チーム以上であった場合、当該種目において15チームごとに「1枠」の追加枠を認める。尚、追加枠を適用する加盟団体は、申込時に予選会のプログラムを添付すること。

(例：埼玉県予選男子一般2部で参加数が31チームだった場合、上記出場枠4枠+「2枠」で代表枠は6枠となる。)

- (13) 参加料 団体戦 一般の部1,2部、50,60代の部 1チーム 30,000円  
小・中学生の部 //

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、推薦チームを含め下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて日本卓球協会宛送金のこと。

(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 財団法人 日本卓球協会)

(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。個人名・チーム名で送金されますと、どの加盟団体のどの大会の送金が判別できないことがあります。必ず各都道府県がとりまとめて送金してください。)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(財)日本卓球協会 宛

TEL(03)3481-2371、FAX(03)3481-2373

コピーを 〒360-0201 埼玉県熊谷市妻沼672-6

金井初男様 気付 埼玉県卓球協会 宛

TEL・FAX:(048)588-4181

- (15) 申込締切 平成23年8月1日(月)必着のこと。  
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (16) 宿泊申込 後日、指定旅行代理店より連絡する。  
(株)レイワ総合企画 〒338-0002 埼玉県さいたま市中央区下落合2-12-9  
TEL:(048)824-1008 FAX:(048)824-6338

- (17) その他 1)やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会及び主管団体宛連絡すること。  
2)10年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。  
3)男女一般1部より各1名最優秀選手を表彰する。  
4)平成23年度全日本卓球選手権大会および第45回全日本社会人選手権への

- 推薦出場選手は、本大会の成績によりクラブ委員会が推薦する。
- 5)『世代交流の部』は当面休止とする。(会場規模で再開する可能性もある。)
- 6)病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- 7)本大会及び予選におけるケガ、疾病が発生した場合は、本会規程により「お見舞金」が支給されます。
- 8)個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。

(18) 第30回全日本クラブ卓球選手権大会推薦出場チーム

第29回全日本クラブ卓球選手権大会ランキング

男子一般の部1部 1 卓楓会 (東京) 2 愛卓TTC (東京) 3 T.O.M (東京) 4 ウイニングクラブ (東京) 5 丸善クラブ(A) (東京) 6 FAMILY (神奈川) 7 卓精会 (東京) 8 グリーンクラブ (大阪)	女子一般の部1部 1 里湯昔話雄山荘ロイヤルクラブ (滋賀) 2 TTSタカハシ (兵庫) 3 ニック&チームワッキー (東京) 4 MD相模 (神奈川) 5 九十九(A) (東京) 6 わかくさクラブ (奈良) 7 瑞穂クラブ (茨城) 8 美鷹クラブENJOY (東京)
男子一般の部2部 1 MD相模 (神奈川) 2 弘前卓球協会A (青森) 3 GROUND ZERO (東京) 4 大阪ナイトクラブ (大阪) 5 代々木クラブ (東京) 6 ウエダTTC(A) (兵庫) 7 ドリームA (静岡) 8 大門クラブ (埼玉)	女子一般の部2部 1 チャイム (神奈川) 2 TRY (大阪) 3 高倉クラブ (神奈川) 4 青森レディース (青森) 5 みるく (静岡) 6 チームシータ (宮城) 7 スマイル (東京) 8 グレンツェ四日市 (三重)
男子50代の部 1 卓精会 (東京) 2 大阪ナイトクラブ (大阪) 3 日産追浜 (神奈川) 4 美鷹クラブ (東京) 5 秋山卓球 (福岡) 6 くろいし卓球クラブ (青森) 7 目黒不動クラブ (東京) 8 青葉クラブ (埼玉)	女子50代の部 1 COLOR (神奈川) 2 みらくる (大阪) 3 大田クラブ (東京) 4 千代田クラブ (東京) 5 武蔵野クラブ (東京) 6 浜卓会トトロ (神奈川) 7 藤沢レディースA (神奈川) 8 八日市場クラブ (千葉)
男子60代の部 1 西東京クラブ (東京) 2 テニシヤス・ナカーズA (神奈川) 3 サザンクロス (東京) 4 宮卓無名会 (福岡) 5 代々木クラブ (東京) 6 逗子クラブ (神奈川) 7 フリーダムクラブ (茨城) 8 横浜卓球ベテラン会A (神奈川)	女子60代の部 1 ウェルネス (東京) 2 つばさクラブ (東京) 3 西宮卓友会 (兵庫) 4 卓精会 (東京) 5 芙蓉 (東京) 6 つばさクラブ(B) (東京) 7 板橋クラブ (東京) 8 藤沢レディースB (神奈川)
男子小・中学生の部 1 フェニックス卓球クラブ (福井) 2 ASJ (青森) 3 富久山卓球クラブ (福島) 4 KTGクラブ (埼玉) 5 福島ジュニア卓球クラブ (福島) 6 中里クラブ (青森) 7 益子卓球ジュニアクラブB (栃木) 8 喜多方卓球ランド (福島)	女子小・中学生の部 1 徳地卓球クラブ少年団 (山口) 2 ヒロタクススポーツA (広島) 3 瀬高ジュニア (福岡) 4 本宮卓球クラブA (福島) 5 弘前卓球センター (青森) 6 東海ジュニア卓球クラブ (茨城) 7 三浦卓球クラブ (福島) 8 本宮卓球クラブB (福島)